

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 芸術 科目 工芸Ⅱ

教科：芸術 科目：工芸Ⅱ 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組

教科担当者：（1組：仲間 孝樹）

使用教科書：工芸Ⅱ 日本文教出版

教科 芸術

の目標：

- 【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようになる。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 工芸Ⅱ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
工芸題材における内容を、美的体験を通して理解して、具体的に表現する技能を身に付けている。	工芸題材における課題を自ら発見し、発想や構想を具体的な表現へと、解決する力を身に付けている。	美術・工芸文化と幅広く関わり、造形的な見方・考え方を働かせ、主体的に表現制作に取り組む態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現		鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			身	社						
1 学 期	○木彫表札 【知】フォントの造形的な理解と木彫表札へ応用するために必要な技能を身に付けさせる。 【思】フォントの造形的な美しさを木彫表札に表現する発想力や構想力を身に付けさせる。 【態】フォントが持つ社会的な関わりを理解して木彫表札の表現制作に主体的に取り組む態度を身に付けさせる。	・レタリングの学習を通して、フォントとして美しい造形を理解させる。 ・「木彫表札」の学習を通して、浅浮き彫りとカシュ塗りの技術を習得させる。	○	○	○	【知】フォントの造形的な理解と木彫表札へ応用するために必要な技能を身に付けている。 【思】フォントの造形的な美しさを木彫表札に表現する発想力や構想力を身に付けている。 【態】フォントが持つ社会的な関わりを理解して、木彫表札の表現制作に主体的に取り組む態度を身に付けている。	○	○	○	26
2 学 期	○ペーパーナイフ 【知】道具の意匠の造形的理解とペーパーナイフに应用するために必要な技能を身に付けさせる。 【思】自然の中から道具として美しい形を発見し、表現する発想力や構想力を身に付けさせる。 【態】様々にデザインされた道具は、心豊かに暮らすために深く関わっていることを理解して、ペーパーナイフの表現制作に主体的に取り組む態度を身に付けさせる。	・道具のデザイン学習を通して、ペーパーナイフの美しい造形を理解させる。 ・「ペーパーナイフ」の学習を通して、透かし彫りとやすりがけ成形の技術を習得させる。	○	○	○	【知】道具の意匠の造形的理解とペーパーナイフに应用するために必要な技能を身に付けている。 【思】自然の中から道具として美しい形を発見し、表現する発想力や構想力を身に付けている。 【態】様々にデザインされた道具は、心豊かに暮らすために深く関わっていることを理解して、ペーパーナイフの表現制作に主体的に取り組む態度を身に付けている。	○	○	○	26
3 学 期	○銀指輪 【知】身近な生活の視点に立ったものづくりを理解して、銀指輪へ応用表現する技術を身に付けさせる。 【思】用途と美しさの調和を考え、自己の思いなどから心豊かな発想力や構想力を身に付けさせる。 【態】価値意識を持って、工芸の良さや美しさを感じ取り、銀指輪の表現制作に主体的に取り組む態度を身に付けさせる。	・価値意識を持って、工芸の良さや美しさを感じ取ることを理解させる。 ・「銀指輪」の学習を通して、銀の特性や効果的な手順や技法、技術を習得させる。	○	○	○	【知】身近な生活の視点に立ったものづくりを理解して、銀指輪へ応用表現する技術を身に付けている。 【思】用途と美しさの調和を考え、自己の思いなどから心豊かな発想力や構想力を身に付けている。 【態】価値意識を持って、工芸の良さや美しさを感じ取り、銀指輪の表現制作に主体的に取り組む態度を身に付けている。	○	○	○	18
合計										70